

1 教育目標

(1) 教育目標

[教育目標]

開拓魂

知・徳・体の調和のとれた、自らの力で未来を切り拓くたくましい子どもを育てる

《 校訓 》

ゆたかな心 (徳)

思いやりの心を持ち、
認め合い・助け合える子

たくましい体 (体)

心や体を鍛え、
ねばり強くやりぬく子

かんがえる子 (知)

学び合い、
考えを深める子

基本的生活習慣〈挨拶・時間を守る・整理整頓・掃除(黙働)〉・学習規律〈学ぶ姿勢〉の確立

(2) 経営方針

子ども一人一人が個性・持ち味を最大限発揮しながら生き生きと学び・成長できるよう、全教職員が「教師のぬくもり」を全面に出して、連携して指導・支援に努める。

- ア 自らのよさを自覚するとともに、互いのよさを認め合い、協力し合える子どもを育成する。(徳)
- イ 主体的に学習に取り組み、ともに学び合い・高まり合うことのできる子どもを育成する。(知)
- ウ ねばり強く頑張ることのできる、たくましい心身をもった子どもを育成する。(体)
- エ 「自分のいのちは自分で守る」ことのできる子どもを育成する。
- オ 学校を創る組織の一員としての自覚をもち、個性・持ち味を最大限発揮しながら生き生きと学び、自ら資質向上に努め、学び・成長する教職員集団をつくる。

(3) 本年度の重点努力目標

- ア 自らのよさを自覚するとともに、互いのよさを認め合い、協力し合える子どもを育成する。
(かかわりを深める→絆づくり→自己有用感を高める・共感的人間関係をつくる) (徳)
 - ・進んで元気にあいさつができる子どもを育てる。
 - ・朝の歌、歌声集会等を充実し、伸び伸びと歌声を響き合わせることのできる子どもを育てる。
 - ・きまりを守り、けじめのある行動がとれる子どもを育てる。
 - ・「ゆたかカード」の取り組みや縦割り班活動を充実することで、自らのよさを自覚するとともに、互いに認め合い、協力することのできる子どもを育てる。
- イ 主体的に学習に取り組み、ともに学び合い・高まり合うことのできる子どもを育成する。(知)
 - ・相手のことばをしっかり聴いて受けとめ、自分の思いや考えを深めることのできる子どもを育てる。
 - ・「言語活動」を充実し、かかわり合い深めることで、互いに学び合い、考えを深められる子どもを育てる。
- ウ ねばり強く頑張ることのできる、たくましい心身をもった子どもを育成する。(体)
 - ・さまざまな運動体験を通して、体力の向上を図り、ねばり強く頑張ることのできる子どもを育てる。
 - ・運動場面の設定等の工夫により、「本気」で自らの限界に挑戦することのできる子どもを育てる。
- エ 「自分のいのちは自分で守る」ことのできる子どもを育成する。
 - ・安全教育の充実により、きまりを守り、正しい判断のもと、安全に行動することができる子どもを育てる。
 - ・緊急時の対応についての理解を深め、自らのいのちを守るため、適切に行動することのできる子どもを育てる。
- オ 学校を創る組織の一員としての自覚をもち、個性・持ち味を最大限発揮しながら生き生きと学び、自ら資質向上に努め、学び・成長する教職員集団をつくる。
 - ・教職員一人一人が、校内授業研究等を通して、互いに切磋琢磨しながら資質向上を図る。
 - ・教職員一人一人が、個性・持ち味を最大限発揮し、学校組織として協働する。